

PRESIDENT'S MESSAGE

RI 会長メッセージ



親愛なるチェンジメーカーの皆さん

「Each One, Bring One (みんなが一人を入会させよう)」イニシアチブに積極的に取り組んでいただいているおかげで、ロータリーの会員増強の傾向が非常に前向きになっていることをとてもうれしく思います。この勢いを失わないよう、取り組みを続け、入会した全会員の維持にも力を注ぎましょう。来月には、ヒューストンでの2022年ロータリー国際大会で皆さまにお会いできるのを楽しみにしています。今大会が素晴らしいイベントになると確信しています。

同じ6月に、ヒューストンで最後の会長主催会議を開催します。ロータリーの重点分野を中心に上げた今年度の一連の会長主催会議は、出席者数という点でも、そこで出たアイデアという点でも、大きな成功を収めています。

昨年秋にフィリピンで開催された会議では、「環境保護」と「地域社会の経済発展」に焦点を当て、2,200人がオンラインで出席しました。ブラジルで開催された会議では、「水と衛生」およびそれが「疾病予防と治療」にどう関わるのかに焦点を当て、600人以上が出席。その後モザンビークのマプトで環境、経済、平和に関する会議が開催され、対面式で約400人、バーチャルで約700人が出席。イタリアのベネチアで開かれた「経済と環境の調和維持」に関する会議には、600人以上が出席しました。

これらの会長主催会議、そして世界各地への訪問を通じて、私は、モーリシャス首相やセーシェル大統領、パーレーン副首相、アルバニア大統領、コソボ大統領といった数多くのリーダーに会いました。そして、皆がロータリーとの協力を同意してくれました。ロータリーは明らかに世界にインパクトを与えており、世界は私たちのリーダーシップを熱望しています。

ヒューストンでの最後の会長主催会議は、「平和のために奉仕する」と題し、ロータリーが長年リーダーシップを

発揮してきた平和に焦点を当てます。ロータリーで行う全ての活動は、地域社会、国、そして自分自身の中で平和を培うための土台づくりとなります。

去る3月、大勢のウクライナの人たちがポーランドに避難してくる中、ロータリーが多大な支援を行っているのを私は見ました。この取り組みのためにこれまでに何百万ドルもの支援金が寄せられ、ロータリーのプロジェクトが多大な変化をもたらしています。皆さまの惜しみないご協力に対し、多くの人が感謝しています。

住む場所を奪われた人々を間近で見るのは、とても心が痛むことです。これはウクライナの人たちに限ったことではありません。イエメンでは悲惨な内戦が続いています。アフガニスタンでの人道危機も深刻化しています。武力紛争により、リビア、南スーダン、中央アフリカ、モザンビーク北部、エチオピア、カメルーンといったアフリカの国々が影響を受けています。また、シリアとベネズエラでも深刻な難民危機が続いています。

ロータリーはいつでも、平和的な紛争解決を選び、可能な限り人々に援助と癒やしを提供しています。第二次世界大戦の終わりにも、ロータリーが国連創設を促し、世界での平和構築のために立ち上がりました。今こそ、私たちの使命を再確認し、世界最大の平和推進者としてのロータリーの役割を果たす時です。

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」の実践こそが、平和を推進するための最善の方法なのです。

シェカール・メータ

2021-22年度 国際ロータリー (RI) 会長